

的な調査・PIステップ3

特集2

那覇空港へのご意見を募集しています(8月29日～10月28日)

りっか PIさな!(さあ、PIしましょう!)～ 空港から見える沖縄の未来～



1 現在の那覇空港

那覇空港における平成18年度の航空機年間着回数数は11・9万回(自衛隊機等を含む)に及び、全国で5番目の回数を誇るとともに、滑走路1本の空港としては全国で2番目となります。

島嶼県である沖縄にとって那覇空港は、本土や県内周辺離島を結ぶハブ空港であり、沖縄県民の生活には欠かす事ができない社会基盤です。

また、近年の沖縄ブームに後押しされ、沖縄を訪れる観光客は年々増加しており、平成18年の入域観光客数は過去最高の564万人を記録しました。入域観光客数の98%が空路により沖縄を訪れていることを考えると、那覇空港は沖縄のリーディング産業である観光産業を支える重要な社会基盤と言えます。

2 那覇空港の総合的な調査とPI

那覇空港は将来の需要が逼迫することが予想されることから、国や県が一体となり那覇空港の将来を検討するため平成15年度より「那覇空港の総合的な調査」を進めてきました。「那覇空港の総合的な調査」では、PIという住民参加型の手法を取り入れています。PIは調査の進捗に合わせて3

つのステップに分けており、ステップごとに皆様から貴重なご意見を頂きながら調査を進めています。これまで、ステップ1で「那覇空港の現状や役割」について、ステップ2で「現在の那覇空港で将来の需要に対応できるのか?」についてPIを行ってきました。今年度はステップ3として「那覇空港の将来対応方策」についてPIを行っています。ぜひ、皆様の貴重なご意見をお寄せください。



PI (パブリック・インボルブメント) とは

Public(公衆を)・Involvement(巻き込む)の略。

一般的に、政策決定や公共事業の計画決定において、国民や地域住民の方が意見を表明できるような場を設け、寄せられた意見を計画に反映するものです。

那覇空港の総合

3 P-ステップ2までの調査結果

これまでの調査において、将来人口や経済成長等を組み合わせ、4つのケースで予測した那覇空港の需要は、今後も増加すると予想され、現在の那覇空港のままで2010年～2015年頃には夏期を中心に需要に対応できなくなることが分かりました。

現在でも年間17万人の方が沖縄訪問を取りやめており、県経済の年間損失額は190億円と考えられます。今後、増加すると予想される需要に対応できなければ、年間19～43万人が沖縄訪問が出来なくなり、沖縄訪問が出来なくなることによる県経済の年間損失額は220～490億円になると予想されます。

4 P-ステップ3で示す将来対応方策案

将来、増加すると予想される那覇空港の需要に対応するため、那覇空港の滑走路処理容量を向上させるための将来対応方策として、現施設を一

部改良して平行誘導路を二重化する「有効活用方策」と滑走路増設により抜本的に処理容量を向上させる「抜本的な空港能力向上方策」について検討を行いました。

「平行誘導路の二重化」とは、現在の平行誘導路が1本のため到着機と出発機の地上走行が輻輳してボトルネックとなっている箇所について、地上走行ルートをもとに確保することで滑走路処理容量を向上させる方法です。

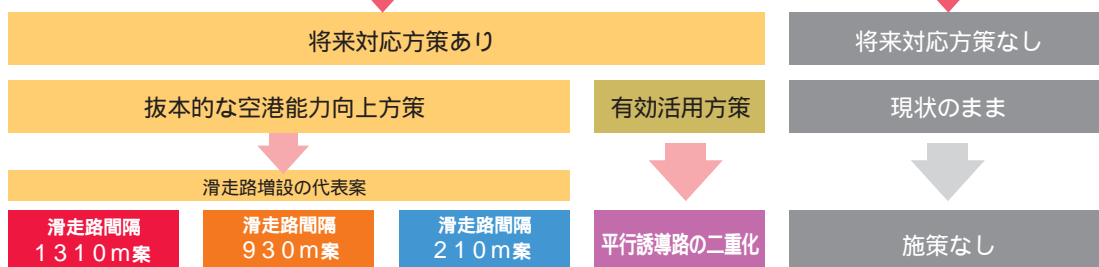
また、「滑走路増設」を検討するにあたり、現滑走路と増設滑走路の位置関係（滑走路間隔等）により滑走路処理容量が異なるとともに、事業規模、利便性、周辺への影響も大きく異なります。

よって、これら様々な傾向や影響を比較するため、増設滑走路案については滑走路間隔が異なる3案を提示しました。

これらの特徴を把握するため、将来対応方策を実施しない「施策なし」を加えて比較を行いました。

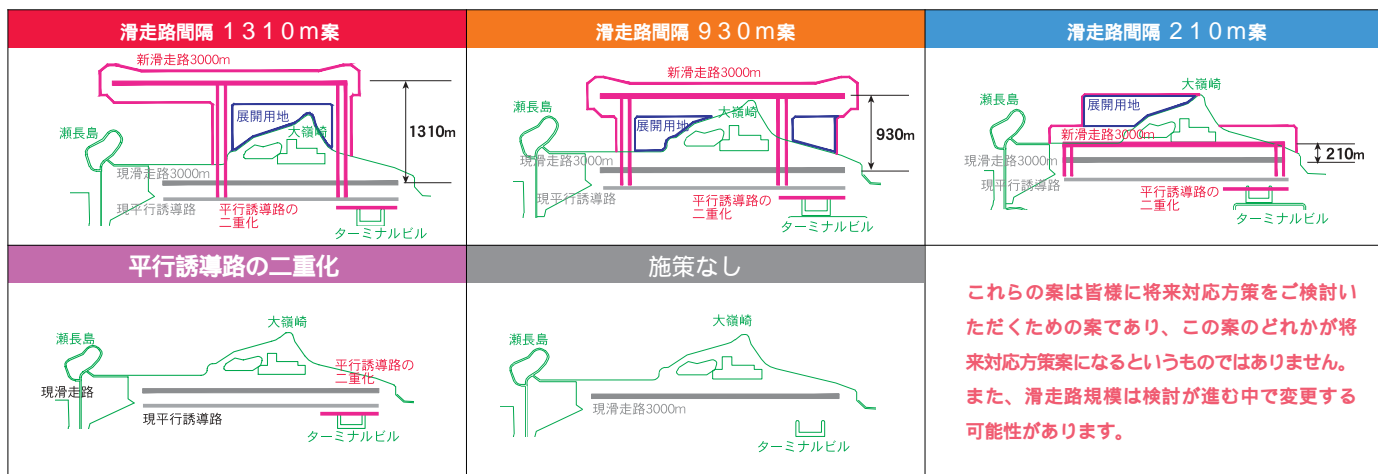
P-ステップ2より

将来、増加すると予想される航空需要に対し、2015年度ごろには現空港では対応できなくおそれがある。



ステップ3で検討すること

将来対応方策の比較

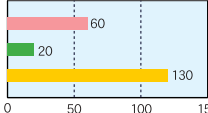
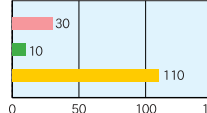
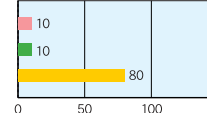


(1) 整備効果など

		滑走路間隔 1310m 案	滑走路間隔 930m 案	滑走路間隔 210m 案	平行誘導路の 二重化	施策なし	備 考
空港能力 日発着可能回数		600～ 620回/日		470～ 480回/日	380～ 390回/日	370～ 380回/日	仮定に基づいた試算値のため 実際の回数とは異なる。
		2030年度以降も 需要に対応可能		2020年代後 半には対応不可	2010年代後半 には対応不可	2010～2015 年度には対応不可	需要への対応 (夏期ピーク)
経済 効果	予測ケース1	1420 億円		1280 億円	190 億円	0 億円	入込客の増加に伴う 直接効果と波及効果。 (2030 年度時点)
	予測ケース2	1110 億円		1110 億円	180 億円	0 億円	
	予測ケース3	120 億円		120 億円	70 億円	0 億円	
	予測ケース4	『需要予測ケース4については、現滑走路1本でも対応可能となることから、滑走路増設分に係る経済効果は「0」となる。』					
ピーク時の発着可能回数		55 回/時		42回/時	34回/時	33回/時	日発着可能回数
座 席 利 用 率	予測ケース1	70%		93%	100%	100%	提供座席数は日発着可能回数が 最大の時に提供できる座席数を 想定。 現状(2004年)の夏期ピーク 75%
	予測ケース2	67%		86%	100%	100%	
	予測ケース3	55%		71%	88%	91%	
	予測ケース4	49%		64%	78%	80%	
地上走行距離		3100 m	2100 m	2400 m	1100 m	1100 m	今後滑走路配置や工法など、 詳細な検討により数値は変動する 可能性がある。
概算事業費		2400 億円	2500 億円	1300 億円	50 億円	-	
概 算 工 期		10年	10年	7 年	3年	-	
埋 立 面 積		220ha	200ha	90ha	0ha	-	

那覇空港の需要予測の算定については、将来の経済成長や人口の予測値を用いています。これら予測値には幅があるため、その組み合わせにより4つのケースについて那覇空港の需要予測を行いました。将来人口及び経済が最も進展したと仮定した場合がケース1、最も停滞したと仮定した場合がケース4となります。詳細については「那覇空港の調査報告書3」をご覧ください。

(2) 環境への影響

		滑 走 路 増 設 案		
		滑走路間隔 1310m 案	滑走路間隔 930m 案	滑走路間隔 210m 案
航空機騒音		沖合に滑走路を増設することから顕著な影響はみられず、現状と同程度と考えられる。		
水 環 境	潮 流	瀬長島周辺で流速が速まる。		変化は1310m、930m案より小さい。
	底 質	流速の変化に伴う底質の変化が予想される。		変化は1310m、930m案より小さい。
	水 質	流入負荷が無いため現状と大きな差は無い。		
陸 域 生 物	瀬長島	影響なし		影響あり
	大嶺崎周辺区域	影響あり		
海域生物		サンゴ礁や藻場に配置されることから、海域生物の生息場への影響が懸念される。		影響は1310m、930m 案より小さい。
海域消失面積（全分布） ・サンゴ礁：約560ha ・藻場：約90ha ・干潟：約410ha		サンゴ礁  藻 場 干 潟	サンゴ礁  藻 場 干 潟	サンゴ礁  藻 場 干 潟
利 用	瀬長島	影響なし		一部利用が制限される可能性がある。
	大嶺崎周辺区域	空港用地化により利用できなくなる。		
	干潟	干潟の一部が利用できなくなる。		
歴 史 文 化	瀬長島	影響なし		瀬長グスクの一部に影響あり
	大嶺崎周辺区域	拝所に何らかの影響が生じる		拝所や大嶺部落跡の一部に何らかの影響が生じる

既存資料を基に概略的な影響を検討したものです。（建設中の影響は除く）また、滑走路長や展開用地の規模の変動に伴い環境への影響も変化する可能性があります。

5

将来対応方策案の比較



『那覇空港の調査報告書3』

那覇空港の総合的な調査

検索

配布場所
那覇空港
モノレール各駅
県行政センター
沖縄県交通政策課
沖縄総合事務局
など

6 今後の
那覇空港について

国と県では、平成15年度から「那覇空港の総合的な調査」を実施してまいりました。同調査は那覇空港の今後の整備の在り方についての調査段階であり、P1ステップ1～3を通して皆様からお寄せいただいたご意見を踏まえ、整備の必要性を判断していくことになります。今後、整備が必要と判断されれば、将来対応方策を決定するため、詳細に検討を行います。

7 「これから」の
那覇空港について
あなたの声をください

P1ステップ3の詳細な内容をまとめた「那覇空港の調査報告書3」は、那覇空港や県行政情報センター等、左記の場所において配布しております。また、インターネットでも配信していますので是非ご覧ください。

あなたの声をください

皆様から頂いたご意見の一つ一つが、那覇空港の将来整備の方向性を決める重要な役割を担うことになります。

報告書の中にはアンケート用紙が入っていますので、皆様の貴重なご意見をお寄せください。

募集期間

10月28日まで

ご意見・お問合せ先

あて先：内閣府沖縄総合事務局 開発建設部 港湾空港建設課 空港係
郵 送：〒900-8530 沖縄県那覇市前島2-21-7

F A X：098-860-1000

メール：mail-kuukouo@ogb.cao.go.jp

HP アドレス： <http://www.pref.okinawa.jp/koutsuu/nahakuukou/index.html>

